

## 丹沢：源次郎沢

- ◆日程 2018年4月22日(日)
- ◆メンバー L：須田(健)、大山
- ◆天候 晴れ

4月14日の春山集中山行が天候不良で中止となったため、延期という形で22日に改革された源次郎沢へ行って来た。この4月22日は丹沢の山開きであり、秦野丹沢まつりが催されているため、多くの人出でバスが混むことが予想されたので、車にて戸沢まで入ることにした。朝6時に横浜を出発し、渋滞もなく7時半ころには戸沢に到着した。駐車場には10台ほどの車が停まっていたが、まだまだ余裕で駐車できる広さ。キャンプもできるようで、数張のテントがあった。昨日から暖かったので、キャンプにも最高だったことだろう。

戸沢からは直ぐに沢に入るのので、準備を整えてまずは天神尾根の入口を目指す。10分ほど歩くと天神尾根の入口に着き、ここから沢に入る。沢を渡り右岸を北上して行く。登山道とまでは言えないが、踏み跡はあるのでかなりの人が通っているとは思いますが、不安そうな須田さん、「源次郎の看板がないなあ、、、」と。遡行図に載っている小さな滝も出てこない。地図とコンパス、スマホで確認してみると本谷沢に入り込んでいたようだった。

天神尾根の入口を目指して引き返し、改めて源次郎沢のスタート。本谷沢を歩いたせいか、源次郎沢は幅も狭く、岩に囲まれた小溪谷のよう。小さな滝を数個超えたあたりに、ありました「源次郎F1」の看板！なんとなく、ほっとしてしまった。ここから、数メートルの滝が続く。決して高くもないが、幅も狭いせいか水の勢いがあり、いい感じで飛沫を浴びながら滝を超えてゆく。この日は30℃近い最高気温の予報だが、沢の中は快適であった。途中、分岐では遡行図でよく確認し進んでいると、最初の難関だろうか、F5(10m)に着いた。斜度はそれほどでもないが、頂上付近に大きな岩があり、沢側へせり出しているのがいやらしい感じ。しかし、ロープが設置されていたので、そのまま進む。須田さんが先に登り、大岩の下でロープを頼ろうとしたとき、ロープが勝手に登ってゆく。「おーい！ちょっと待って！」と叫ぶが、その声も空しくロープは岩の向こうへ行ってしまった。残置ロープと思っていたのは、前に行く方が練習のため使っていたロープで、回収されてしまったのだった。ロープに逃げられてしまったので一度引き返し、ロープで確保しながら進む。登りは大したことないが、やはり最後の大岩が邪魔をして、少しスリルのある滝であった。



次なるF6(2段10m)もロープを使い、須田さんが先にリードで登り、私が後に続く形で登る。一段目は難なく登れたが、2段目は大きな岩が積み重なったような形で、流れの中をのぼった。が、左足がズルッと流れてしまった。手掛かりはあったので落ちることはなかったが、確保者は確実にテンションを感じていたことだろう。

源次郎沢の最後は、F9(CS 2段10m)、チムニー(7m)、

F10 (CS10m) と難所が続きます。最後のF10はCSの右がほぼ垂直な壁、左側には残置ロープがあり段差もある壁である。右の壁は他の方が登っていたので、簡単そうな左の壁へ。難なく最上段まで登ったが甘かった。最後が土で手が無い。木、草などを頼りに、どうにか這うようにして登ることができた。後から思えば、右ルートの方が楽だったのかもしれない。なんでも、ロープで確保せずに完登してしまった方がいるそうで。



その後は大倉尾根へ出て、そのまま天神尾根経由で戸沢まで下山した。夏の暑さを思わせる天気でも沢は快適で、他の登山者も少なく自然を感じられる登山です。今回は2回目の沢登りでしたが、ますます沢が好きになりました。

CT : 戸沢 7:55 - F1 8:45 - F5 10:00 - F10 11:25 -  
大倉尾根 1280m 付近 12:20 - 竜神尾根分岐 12:50 - 戸沢 13:30